

令和8年6月議会 補正予算 (6月29日追加提案分)

【概要】

令和8年6月25日
財 政 課

【令和8年度一般会計6月補正予算 追加提案（第2号）の内容】

1億3,691万円

I 物価高騰対策 7,661万円

地域の事業者を支援 7,661万円

- ・ 商業・サービス業者等が取り組む省エネルギー対策の支援
- ・ 製造業者が取り組む省エネルギー対策の支援
- ・ 漁業者が取り組む省エネルギー対策の支援
- ・ 高齢者福祉施設等が取り組む省エネルギー対策の支援

II 三菱マヒンドラ農機(株)等の協力企業を追加支援 6,030万円

- ・ 協力企業の生産プロセス変革・拡大を支援

III どだいづくり 【予算の組替】

- ・ DX・GXによる持続可能な公共交通の基盤構築

交通事業会計補給金 1億1,963万円

自動運転実証事業費 ▲1億1,963万円

財源 1億3,691万円

国庫支出金 1億 811万円

繰入金 2,880万円

令和7年度国の補正予算（第1号）
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
（推奨事業メニュー）の状況（6月25日現在）

令和7年度交付限度額	①	20億6,492万円
令和7年度決算見込み額	②	4億6,439万円
令和8年度当初予算充当額	③	14億4,159万円
今回補正予算(第2号)計上額	④	1億 811万円
差引(残額)	⑤(①-②-③-④)	5,083万円

I 地域の事業者を支援

〈物価高騰対策〉

商業・サービス業者等が取り組む省エネルギー対策の支援

～商業・サービス業等省エネ対策支援事業費～

事業費：5,906万円、財源：重点支援交付金5,156万円



エネルギー価格高騰等の影響を受けている商業・サービス業等の事業者が取り組む、エネルギーコスト削減効果の高い設備投資を支援するため、島根県の追加支援に呼応して増額補正する。（繰越明許費設定）

【実施例】

補正前額	補正額	補正後額
5,671万円 (R7繰越予算)	5,906万円 (繰越明許費750万円)	1億1,577万円



民間事業所のエアコン設置

【補助対象者】 商業・サービス業等の事業者

【補助対象】 省エネルギー・省電力に資する設備更新・機器導入費

【補助額】 10万円～75万円

【補助率】 県補助金の1/2以内
または1/4以内

県への申請件数（松江市分）
100件以上（6月17日時点）
※県の委託事業者が取りまとめ中

＜参考＞ 県補助金の内容

【補助率】 補助対象経費の1/2以内

（新型コロナ関連融資を利用している場合は 2/3以内）

【補助限度額】（上限額）300万円（下限額）20万円



飲食店の製氷機設置

I 地域の事業者を支援 〈物価高騰対策〉

製造業者が取り組む省エネルギー対策の支援

～製造業省エネ対策支援事業費～



事業費：480万円

エネルギー価格高騰等の影響を受ける製造業の中小企業が取り組む、省エネルギー効果の高い生産設備等の導入並びに製造現場等の改善を支援するため、島根県の追加支援に呼応して増額補正する。（繰越明許費設定）

【実施例】

補正前額	補正額	補正後額
6,258万円 (R7繰越予算)	480万円 (繰越明許費480万円)	6,738万円

【補助対象者】 製造業者

【補助対象】 省エネルギー・省電力に資する設備更新等

【補助額】 20万円～450万円

県への申請件数（松江市分）

【補助率】 1/2

20件（6月17日時点）

※県補助金との併用可（県補助残額（自己負担額）の1/2を補助）

＜参考＞県補助金の内容

【補助率】 中小企業者 補助対象経費の1/2以内

小規模事業者 補助対象経費の2/3以内

【補助限度額】（上限額）750万円（下限額）40万円



工場設備の変圧器更新



工場屋根の遮熱塗装施工

I 地域の事業者を支援 〈物価高騰対策〉

漁業者が取り組む省エネルギー対策の支援 ～漁業省エネ対策支援事業費～



事業費：750万円、財源：重点支援交付金

物価高騰の影響を受けている漁業者が取り組む、省エネルギー・省コストにつながる漁業用機器等の導入を支援するため、島根県の追加支援に呼応して増額補正する

補正前額	補正額	補正後額
2,859万円 (R7繰越予算)	750万円	3,609万円

【実施例】



船外機の更新

【補助対象者】 認定漁業者、認定新規漁業者等

【補助対象】 省エネルギー・省電力に資する漁業用機械・機器の導入費

【補助額】 上限250万円

【補助率】 県補助金残（自己負担）額の1/2以内

県への申請件数（松江市分）
21件（6月17日時点）

<参考> 県補助金の内容

【補助率】 補助対象経費の1/2以内

【補助限度額】（上限額）1,000万円



LED集魚灯の導入

I 地域の事業者を支援

〈物価高騰対策〉

高齢者福祉施設等が取り組む省エネルギー対策の支援

～高齢者・障がい者施設等省エネ対策支援事業費～



事業費：525万円、財源：重点支援交付金

物価高騰の影響を受けている高齢者福祉施設等が取り組む、エネルギーコスト削減効果の高い設備投資を支援するため、島根県の追加支援に呼応して増額補正する。

【実施例】

補正前額	補正額	補正後額
2,250万円 (R7繰越予算)	525万円	2,775万円



福祉施設の空調更新

【補助対象者】 高齢者福祉施設、障がい福祉施設、児童福祉施設を運営する市内社会福祉法人等

【補助対象】 省エネルギー・省電力に資する設備更新・機器導入費

【補助額】 10万円～75万円

【補助率】 県補助金の1/2以内

県への申請件数（松江市分・見込）
24件（6月17日時点）



福祉施設の給湯器更新

＜参考＞県補助金の内容

【補助率】 補助対象経費の1/2以内

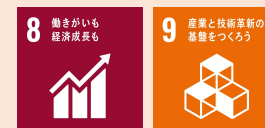
【補助限度額】（上限額）300万円（下限額）20万円

II 三菱マヒンドラ農機(株)等の協力企業を追加支援

協力企業の生産プロセス変革・拡充を支援

～製造業生産プロセス変革等支援事業費（三菱マヒンドラ農機関連）～

事業費：6,030万円、財源：重点支援交付金4,380万円



製造業者の生産プロセスの変革・拡充または新事業の構築による収益確保に向けて、必要な設備投資等を支援するため、島根県の追加支援に呼応して増額補正する。（繰越明許費設定）

【補助率イメージ】

事業費4,000万円の場合 事業費6,000万円の場合
 県＋市＝3,600万円 県＋市＝5,400万円
 （補助割合 9/10） （補助割合 9/10）

補正前額	補正額	補正後額
5,400万円 (R7繰越予算)	6,030万円 (繰越明許費1,650万円)	1億1,430万円

※支援総額 1億5,787万円（うち令和7年度補正予算9,757万円）

【補助率】 県＋市 9/10以内

事業費	市補助割合	市上限額
4,000万円以下	1.5/10	600万円
4,000万円を超える場合	9/10-県補助割合	3,000万円

<参考> 県補助金の内容

【補助率】 7.5/10 【補助限度額】（上限額）3,000万円

<p>【県】 補助率 7.5/10 補助額 3,000万円</p>	<p>【県】 補助割合 5/10 補助額 3,000万円 (上限額)</p>
<p>【市】 補助率 1.5/10 補助額 600万円</p>	<p>【市】 補助割合 4/10 補助額 2,400万円</p>
<p>【事業者】 自己負担400万円</p>	<p>【事業者】 自己負担600万円</p>

Ⅲ どだいづくり

〈都市デザイン（水辺・公共交通）〉

DX・GXによる持続可能な公共交通の基盤構築

～自動運転バス購入費補助金～
（交通事業会計補給金）



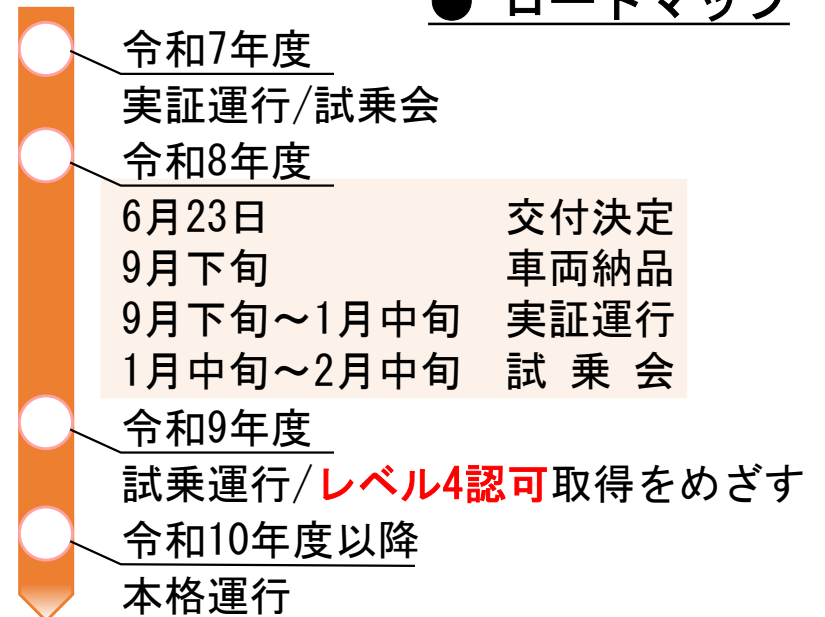
事業費：1億1,963万円、財源：国4/5

令和7年度に続き、官民で連携し自動運転の実証運行に取り組み、検証を重ねて早期の本格運行を目指す。運行事業者が保有する車両で実証実験を行うという国の方針に呼応し、交通局が自動運転バスを購入する費用を補助する。

● 実施内容

- ・スムーズにレベル4認可取得し、本格運行を開始するため実証運行から本格運行まで同一車両を使用できるよう、車両調達をリースから購入に変更
 - ・自動運転バス車両購入補助 1億1,963万円
- （※）当初予算で計上した総額2億5,013万円は変更せず、事業の年度間調整等を行い「自動運転実証事業費」から「自動運転バス購入費補助金」へ1億1,963万円を組み替え

● ロードマップ



【参考】交通局の補正予算

車両購入費	1億 661万円
車両の維持管理・システム保守経費等	1,302万円
計	1億1,963万円

【財源】一般会計補助金（全額）

中心市街地に自動運転バスを導入し捻出した運転士を郊外部と中心部をつなぐ幹線へ再配置
市域全体の持続可能な交通ネットワークを形成

路線バスへの自動運転技術の早期実装をめざす「**松江市自動運転バス実証事業**」が国土交通省による「**地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）**」に**採択**

- 交付決定日 令和8年6月23日
- 補助金交付上限額 192,911,754円
(一般支援)



自動運転バスのイメージ

「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）」

目的：地方公共団体による、レベル4自動運転移動サービス実装に係る初期投資を支援

補助率：**4/5**

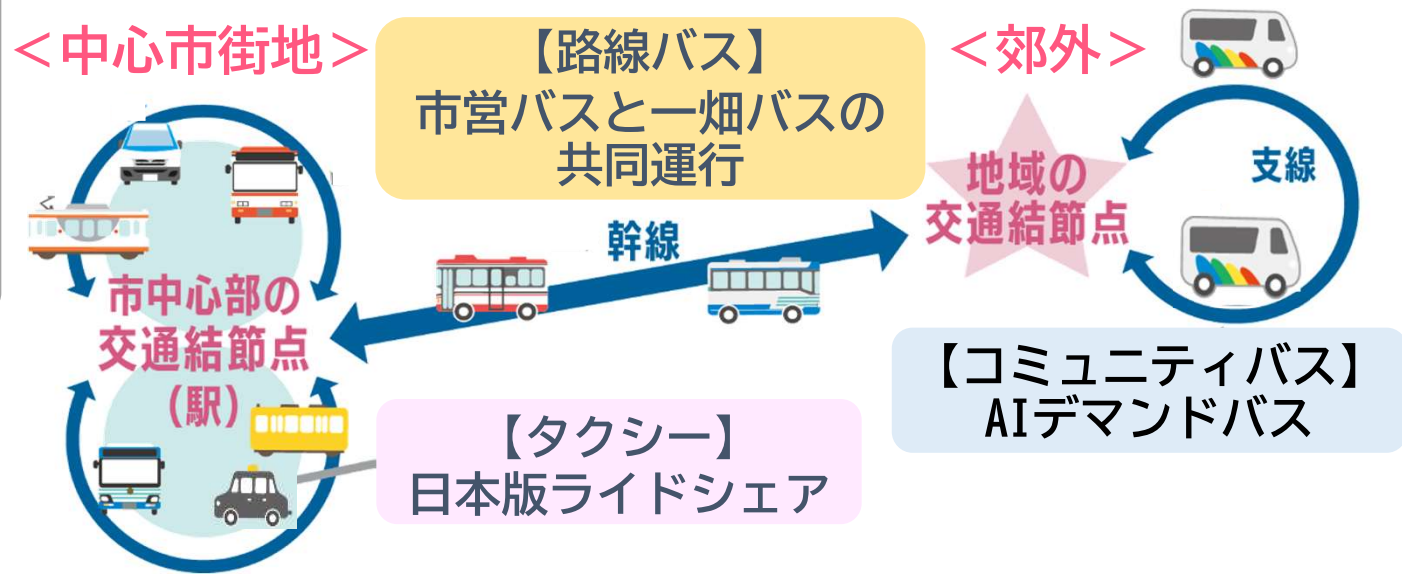
補助対象経費：
・車両購入費・車両改造費・自動運転システム構築費
・リスクアセスメント、ルート選定等

支援の枠組み：
(1) 重点支援（補助上限額：4億円）
地域公共交通の先駆的・優良事例として横展開できる事業
(2) **一般支援**（補助上限額：2億円）
(1) 重点支援を除く、早期にレベル4達成が見込まれる事業

所管：国土交通省 物流・自動車局

路線バスの運転士不足への対応

本市公共交通ネットワークのイメージ



路線バスの運転士不足の状況

運転士数が、令和元年度に比べ
約10%減 (163人→146人)

令和6年度には**運転士不足**を背景に
15路線減便 3路線廃止

本市公共交通ネットワークの要となる **路線バスの運転士不足は喫緊の課題**

AIデマンドバス導入 【令和5年4月3日～】

- ・ 郊外の交通空白解消
- ・ コミュニティバスの運行効率化

全国初!

現在4地区で
運行中

鳥取・島根の
県境をまたぐ
広域運行



市営バスと一畑バスの共同運行開始 【令和8年4月1日～】

全国唯一!

- ・ 運転士と車両の**効率的な運用**
- ・ 運賃改定による**収益性向上**

令和8年3月17日、国土交通省より独占禁止法
特例法に基づく認可を取得

「路線」「ダイヤ」
「運賃」を一括・網羅
した共同経営計画



日本版ライドシェア実施 【令和7年2月～】

- ・ 交通空白時間帯の解消

許可事業者：4社(令和8年3月時点)
ドライバー雇用：8名
運行時間：平日・8:00～12:00

高齢者の通院
ニーズに対応

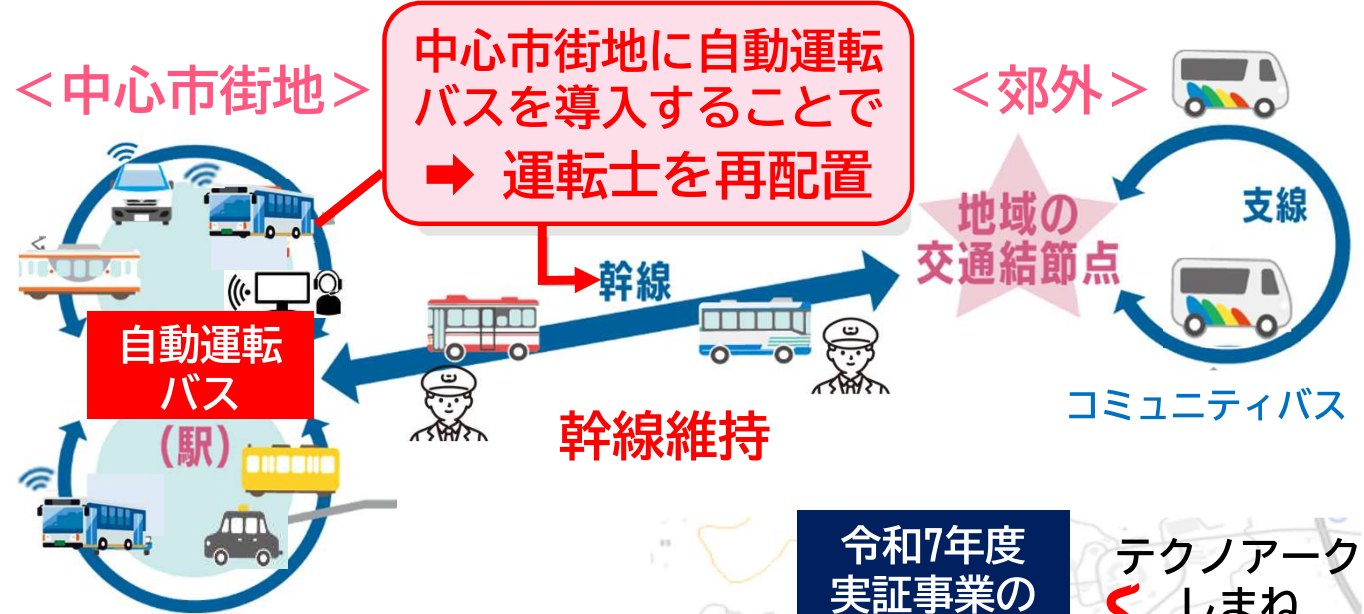


自動運転の導入により**運転士不足を克服し、持続可能な交通ネットワークを形成**

路線バスへの自動運転技術の実装

狙い

- 中心市街地の路線バスを**自動運転化し、運転士を省人化**
- 自動運転化で捻出した運転士を**郊外部路線へ再配置**し、市域全体の公共交通を維持・確保



路線バスの自動運転実装に向けたこれまでの取り組み

- 令和6年10月4日 ソフトバンクと事業連携協定(人流・物流)締結
- 令和7年 4月8日 総務省「地域社会DX推進パッケージ事業(自動運転レベル4検証タイプ)」に採択 (※国内全9箇所)

令和7年度 自動運転バス実証事業 概要

- 本市公道走行における技術的課題の抽出
- 対応策の検証
- 試乗会の開催 (7日間・219名が乗車)

【実証事業を踏まえた今後の対応】

- 路上駐車回避、バス停からの円滑な発進、自然なブレーキングなど技術面の改善
- 市民の理解醸成に向けた継続的な実証



試乗会の様子



コースの概要

- JR松江駅を起終点に、くにびき大橋・大手前通り・県民会館前・宍道湖大橋を經由
- 中心市街地を循環（観光需要の取込、回遊性向上を企図）

実証事業における検証事項（例）

- 路上駐車回避、バス停からの円滑な発進、自然なブレーキングなど技術面の改善
- 試乗会を通じた市民の理解醸成

今後のロードマップ（予定）

【令和8年度】

- レベル2※1走行
- 実証運行（9月下旬～）
- 試乗会（1月中旬～2月中旬）

※1 運転士がハンドルに手を添えて走行

【令和9年度】

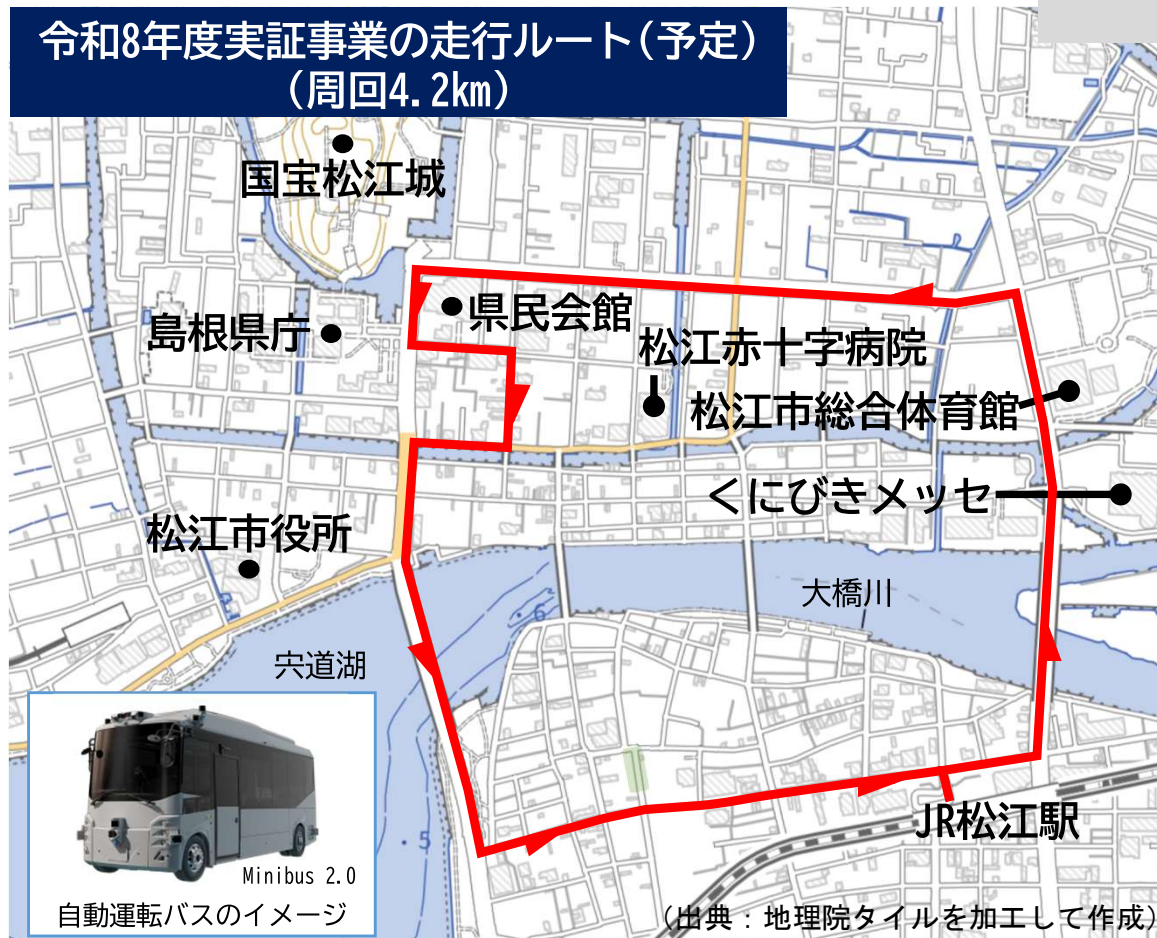
- レベル2※1走行
- 実証運行・長期にわたる試乗運行
- **レベル4認可※2取得**

※2 運転士を不要とするレベル4自走運転に必要な「走行環境条件の付与」

【令和10年度以降】

- **本格運行開始**
- 順次、右(逆)回りルートや松江しんじ湖温泉駅方面への路線拡大・遠隔監視導入を検討

令和8年度実証事業の走行ルート（予定） （周回4.2km）



運転士不足
への対応

市街地の
回遊性向上

環境負荷の
低減

**持続可能な公共交通
ネットワークの実現へ**

「誰もが安心してやさしく移動できるまち」の
実現にチャレンジしてまいります！

MATSUE
DREAMS
2030

<お問い合わせ先>

松江市 まちづくり部
交通政策課 公共交通戦略室

☎ 0852-55-5884

☒ [お問い合わせフォーム](#)